

製品名: Tollip ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19118**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	TOLLIP
別名	TOLLIP; Toll-interacting protein
遺伝子 ID	54472.0
SwissProt ID	Q9H0E2
免疫原	ヒト Tollip の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

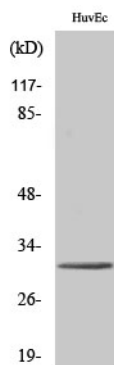
この遺伝子は、複数の Toll 様受容体 (TLR) シグナル伝達カスケード構成要素と相互作用するユビキチン結合タンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は炎症性シグナル伝達を制御し、インターロイキン-1 受容体の輸送および IL-1R 関連キナーゼ

の代謝に関与しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2016年1月],機能: IL-1 および Toll 様受容体のシグナル伝達経路の構成要素。微生物産物による細胞活性化を阻害します。IRAK1 を IL-1 受容体複合体にリクルートします。IRAK1 のリン酸化およびキナーゼ活性を阻害します。PTM: IL-1 または微生物産物による刺激を受けて IRAK1 によってリン酸化されます。類似性: 1つの CUE ドメインを含みます。サブユニット: オリゴマーを形成します。C 末端を介して TLR2 および TLR4-MD2 複合体に結合する。非刺激細胞では IRAK1 との複合体として存在する。IL-1 シグナル伝達により、Tollip は IL-1RI、IL-1RacP、およびアダプタータンパク質 MyD88 を含む活性化 IL-1 受容体複合体に結合し、IL-1RacP の TIR ドメインと相互作用する。MyD88 は IRAK1 の自己リン酸化を誘導し、IRAK1 を Tollip および IL-1RacP から解離させる。TOM1L2 と相互作用する。

研究分野

有料道路のような;

画像データ



Tollip ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。